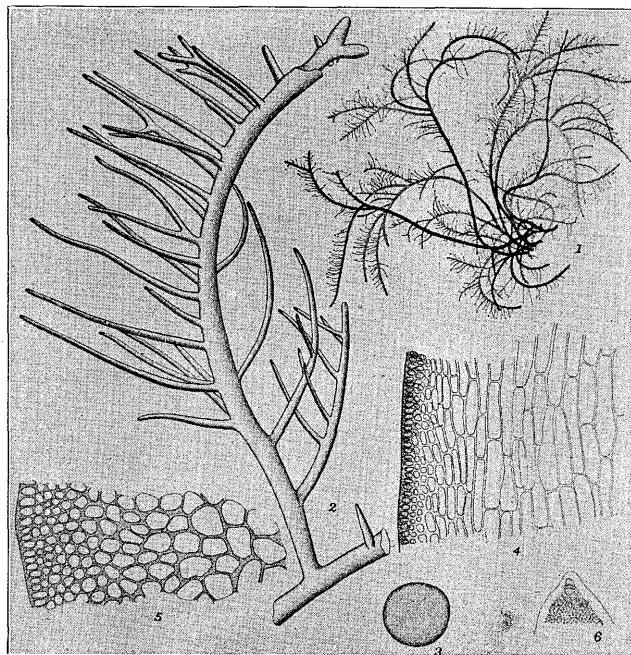


しまてんぐさ屬トてんぐさ屬トニ就テ述べル

〇しまてんぐさ屬トてんぐさ屬トニ就テ述べル

理學博士　岡村金太郎

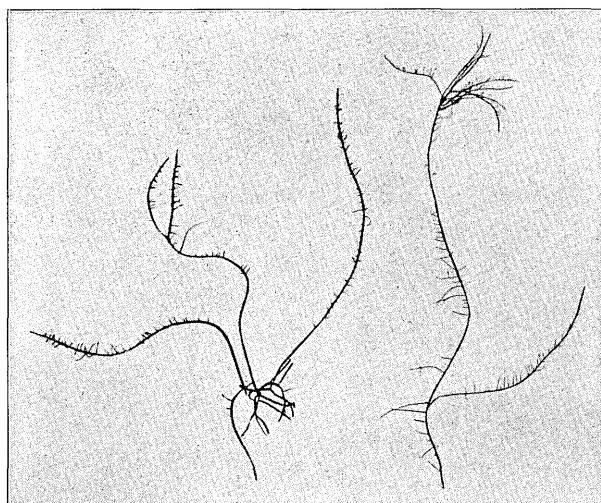


しまてんぐさ (*Echinocaulon rigidum* KÜTZING)

(岡村著日本藻類圖譜第二卷第二號第五十九圖版 1909.)

分類ノ學問ト云ヘバドノ部ニ屬スルモノデモ孰レ同ジ様ナコトデアラウト思フガ海藻ニハ殊ニ一ノ屬ノ中ニイロト異ナツタ性質ノアルモノガアツテ夫ガ明ニ區別セラレナイ間ハ何ト力理屈ヲツケテ間ニ合ハシテ居ルガ儲テ誰カ、一人其區別ヲ見付ケ出シテ其性質ニ依テ彼是ヲ區別シテ見ルト誠ニ立派ナ根據ニ依テ分類ガ判然トスルト云フ様ナ實例ガ少ナクナイ、茲ニ説キ出ス一節モ亦其一例デ「看客深ク其心シテ讀ミネカシ」ト馬琴口調デ書ク程ノモノデモナイガ「先ヅ一通リキ、ネカシ」

本邦ノ南部小笠原島、琉球カラ鹿兒島縣下アタリニアルしまてんぐさ (岡村、日本藻類圖譜、二卷二集五十九圖版ノ一一六圖) ハ從來學名 *Gelidium rigidum* (VAHL) GREV. ト呼バレテ居タガ夫ヲ和蘭ノ WEBER VAN BOSSE 女史ガ一



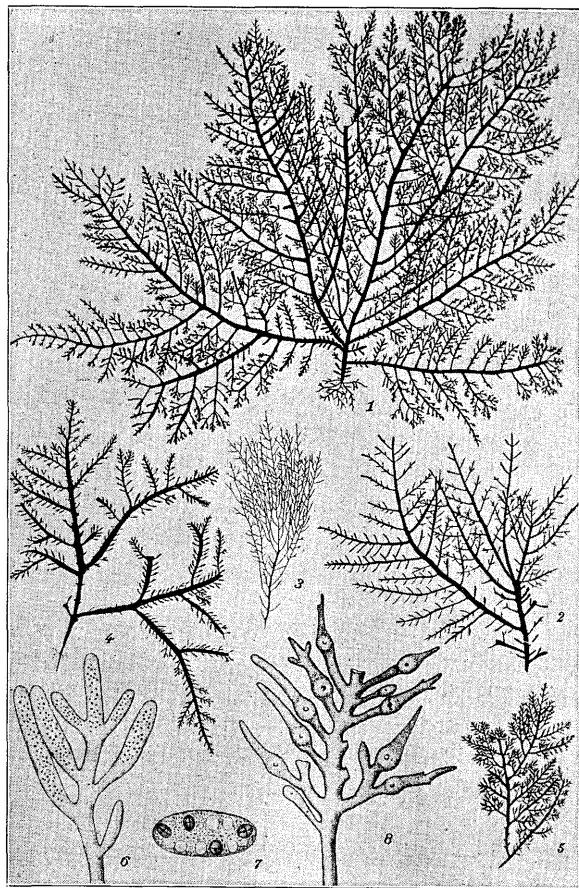
しまてんぐさ (Echinocaulon rigidum KÜTZING)

(標本寫眞)

九〇四年ニ *Gelidiopsis rigida* (VAHL) WEBER v. Bos. ュ訂正シタ故私モ同圖譜一八八頁ニソノ通リニ訂正シタ、處ガ夫ガ更ニ昨年ニ至テ佛蘭西ノ J. FELDMANN ハ依テ *Echinocalon rigidum* (VAHL) KÜTZ. ュスミキダト [K]フ事ニナツタ其顛末ハ伸々並大抵ノ事アハナイ

元來此植物ハ千八百〇一年ニ VAHL ガ初メテ *Fucus rigidus* VAHL メ命名シタモノア夫々 LAMOUROUX ガ千八百五年ニ *F. spinaeformis* メ改メ TURNER ハ千八百十九年ニ *F. cornutus* var. *spinaeformis* ュ訂正シ C. AGARDH ハ千八百一十四年ニ *Sphaerococcus rigidus* ュ變ヘ千八百三十年ニ GREVILLE ハ *Gelidium rigidum* メシタ、此學名ハ KÜTZING W. J. AGARDH モ千八百四十九年カラ千八百七十六年ニ瓦ル間製用シテ居ツタ、處ガ KÜTZING ハ千八百四十三年ニ *Echinocaulon* ハ [K]フ屬ヲ設ケテ *E. spinellum* ハ千八百四十一年ニ發表シ更ニ千八百六十八年ニ *E. ramelliferum* K.G. ハ *E. rigidum* K.G. ハ發表シタ、然シ此等ノ *Echinocaulon* ハ皆同一種デアルト後ノ學者ガ査定シタ、夫デ暫クノ間、*Echinocaulon* ハ [K]フ屬ハ學者間ニ認メラレズ異名トシテ其マ、ニ葬ラレテ居ツタ、千九百五年ニ至リ WEBER v. Bosse ハ其當時 *Gelidium*トセラレテ居ツタ此植物ヲ研究シ其體ノ構造ガてんぐれ屬 (Gelidium) ニ見ル如ク細胞ト細胞トノ間ニアル細イ根様細胞ノナイ事ト成長點細胞ガ明デナイト云フ事トニ依

しまでんぐや屬とてんぐさ屬トニ就テ述べル

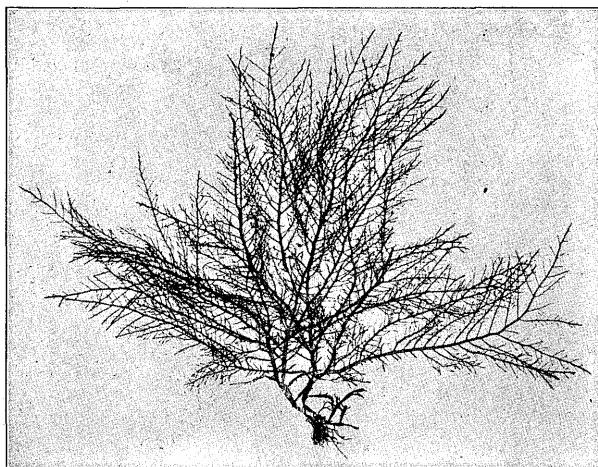


てんぐさ (*Gelidium Amansii* LAMOUR.)

(岡村著日本藻類圖譜第三卷第二號第百六圖版 1913.)

根據ハ立派ニ成長點ノアルコトハ此植物々 *Gelidiopsis* ハ配置スルコトヲ許サズ種々ノ點ニ於イテ *Gelidium cartilagineum* ハ似タルヲ以テ根様細胞ハナイケンレバ *Gelidium* ハ置クガ正シイト論ジ、米國ノ SETCHELL ヲ TAYLOR ハ之ニ賛成シテ居タ、私ハ今 HOWE ハ此事ヲ發表シテ Flora of Bermuda (1918) ヲ持タヌカラ此植物

ヘアニ *Gelidiopsis* ハ移シ
Gelidiopsis rigida (VAHL)
 WEB. v. B. レシタ、其後
 私ハ之ヲ前記圖譜ニ圖說
 シテ立派ニ成長點ノアル
 コトヲ明ニシテ置イタガ
 (千九百九年) 私モ成長點
 ノ事ニハ氣ガ付カズ唯根
 様細胞ノナイ事ダケハ
Gelidium ム異ナルノデ
 WEBER ハ說ニ隨テ之ヲ
Gelidiopsis rigida レ訂正
 ハタコトハ前ニ言ッタ通
 リデアル、千九百十八年
 ハ米國ノ HOWE ハ之ヲ
Gelidium ハ移シタ、其

てんべき (*Gelidium Amansii* LAMOUR.)

(標本寫眞)

ニ立派ナ成長點ノアルコトヲ HOWE 之身ガ見タカ或ハ私ガ圖說シタノニ依ツタカハ斷定シ難イガ BÖRGESSEN ノ千九百二十
年ニ出シタ Mar. alg. Danish West Indies 1171頁ニハ此レ
ノ成長點ヲ初メテ發見シタノハ岡村ダト私ノ圖譜ヲ引用シテ
別ニ HOWE ノ事ヲ言ッテ居ナイカラ多分私ノ研究ニ依ツタモ
ノデアラフ、而シテ BÖRGESSEN ハ根様細胞ガナイカラ Howe
ノ言フ様ニ *Gelidium* ニハ入レラレナクテ矢張リ *Gelidiopsis*
ニ言フ様ニ *Gelidium* ニハ入レルガ正シイト論ジテ居ル、然モ同氏ハ立派ニ成長點ヲ
圖シテ居ル
私モ此植物ヲ *Gelidium* ニ入レルトスルト根様細胞ノナイ事
ガドウモ腑ニ落チズ HOWE ャ SEMICHELI バドウシテ之ヲ *Geli-
dium* ニ入レルト言ツテ涼シイ顔ヲシテ居ルノカト疑ツテ居
ツタ
處ガ此二月十四日佛蘭西ノ J. FELDMANN ト云フ從來文書ノ交
換ヲシテ居ラナイ學者カラ一論文ヲ送ツテ來タノデ一覽スル
ト中ニ岡村ト書イテアルノデ不得手ナ佛語ヲ字引ト頸ツ引キ
テ讀ンデ見タラ此問題デアツテ結局此植物ハ千八百六十八年ニ KÜNTZING ガ *Echinocaulon rigidum* (Vahl) KÜNT-
ZING ト命名シタ學名ニ復歸スルコトニナツテマヅ鳶ガツイタ譯デアルガ、然シ此植物ノ四分胞子ハ近ク明ニナ
ツタケレドモ精子器モ囊果モマダ見付カラナイカラ夫ガ有ルカ無イカモ定メナクテハマダ充分ト云フ所マデ到
しまてんべき屬トてんべき屬トニ就テ述べル

癲病ノ特効藥デアル大風子

ツタトハ言ヘヌ、夫デ Echinocaulon ト Gelidium ト Gelidiopsis トノ區別ヲ分リ易イヨウニ検索表ニシテ示スト

一、成長點ノ明カナルモノ

a 根様細胞ヲ有スルモノ……………Gelidium

b 根様細胞ヲ有セザルモノ……………Echinocaulon

二、成長點ナクシテ噴水式構造ヲ有スルモノ……………Gelidiopsis

トナル譯デアル

抑モ千八百二年ニ發表サレタ一ノ海藻ガ千九百三十一年ニ至ツテ漸ク正確ナ根據ノ下ニ其屬スベキ位置ニ置カレタ譯デアル、一ツノモノデモ百二十九年カ、テ居ルコトヲ考ヘルト學問ト云フモノハ難有イモノデ時間ヲ超越シ努力ヲ惜マズ精進スル所ニ其尊トサガ覗ハレル、分類ハ學問デナイト云フ人モアラウガ夫ハ其人ノ見ニ任カス、要ハ唯事實ヲ深ク知ル事ガ大切デアルノデ是ハ即チ「學術ヲ恐懼セヨ」ト多クノ識者ノ言フ所デアル、言ヲ換ヘレバ學問ハ正確ヲ期セヨト云フニ同ジデアル、分類學ノ樂シミモ亦其中ニ在ルノデ實ニ此樂シミハ知ル人ヅ知ルトコソ言フベケレ

○癲病ノ特効藥デアル大風子

藥學博士 刘米達夫

大風ハ漢方ニ謂フ風疾ノ一デ今ノ癲病デアル、本草綱目大風子ノ釋名ニ「能ク大風疾ヲ治ス故ニ名ク」トアリ、佛典ニヨレバ既ニ千餘年前カラ印度デ癲病ノ治療ニ用ヒテ居ル、而テ現在ニ於テモ唯一無二ノ癲病藥デアル、タダ昔ハ大風子又ハ其油ヲ内服シ或ハ患部ニ塗布シタモノデアルガ今ハ専ラ大風子油ヲ皮下注射スルダケノ違ヒデアル